

8-6-5 CPD監査専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) CPD 監査専門委員会の開催

委員会開催回数：9 回

(2) 主な活動内容

平成 21 年度より CPD 会員から無作為に一定人数（被監査者）を抽出し、その会員が登録した記録の監査を実施している。令和 6 年度は、令和 5 年度登録記録（総記録数 3,626 記録/200 名分）を対象に監査を実施した。

2. 監査の実施

(1) 監査員による監査

監査は「CPD 監査マニュアル(第 4 版平成 30 年 6 月)」に従って監査員が被監査者個々の登録記録を精査した。登録記録が適当でなければ、内容により「削除相当」、「修正相当」、「助言相当」の 3 つの判定レベルで指摘を行い、理由を含めて CPD 監査システムに整理した。

(2) CPD 監査専門委員会による照査・とりまとめ

CPD 監査専門委員会は、監査員による指摘内容の照査を行い、指摘された「削除相当」、「修正相当」および「助言相当」の判定の適否について審議し、監査報告をとりまとめた。

3. 監査結果

(1) CPD 記録の状況

a) 一人当たりの CPD 記録数

対象 200 名の CPD 記録の年平均単位数は 58.4 単位/年で、前年（58.2）と同程度であった。

b) 教育分野別傾向

教育分野別の傾向は図-1 に示すとおりであり前年同様であるが、マネジメント関連 4%（昨年 7%）と減少した点は推移を確認していく。

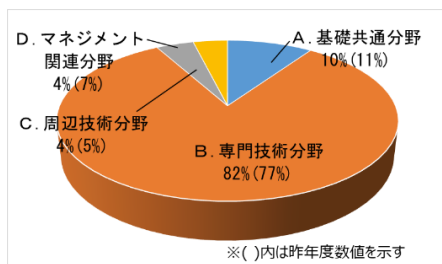


図-1 教育分野別傾向

c) 教育形態別傾向

教育形態別の傾向も、図-2 に示すとおり前年度と同様であった。

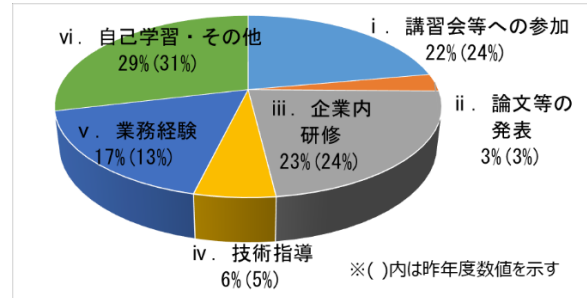


図-2 教育形態別傾向

(2) 監査結果

削除相当、修正相当、助言相当の指摘数合計は 260 件（昨年 255 件）で、その内訳と近年の傾向は表-1 に示す。

表-1 総合判定状況

判定	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
削除相当	0.7%	0.3%	1.1%	0.9%
修正相当	1.7%	0.6%	1.8%	1.8%
助言相当	2.7%	2.8%	3.4%	6.1%

この結果より CPD 単位に影響する削除相当・修正相当はわずかであり、CPD 記録登録は概ね適正であり、CPD システムは適切に運用されていると判断する。

4. 今後の課題と対策

監査システム（クラウド）が導入され、監査員の指摘の意図をより明確に把握できた。誤登録は僅かな割合であるが、CPD 解説書や CPD システムの改善提案を図ることにより、利用者への周知方法の検討など適切な CPD 登録に繋がる活動を行う。

具体的には、指摘が集中している事項を「誤登録事例」として会員企業に周知する。解説書やシステム画面に、注意事項を喚起するなどの対策を実施する。

（CPD監査専門委員会委員長 新穂 孝行）